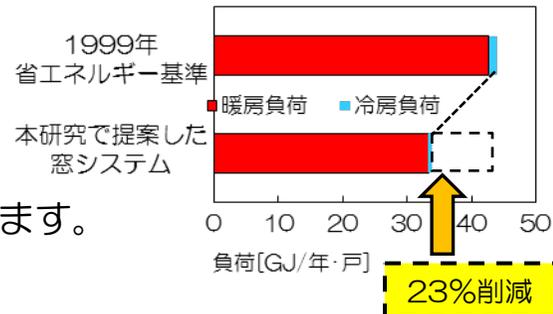


高断熱化・自然エネルギーの制御により、住宅の省エネルギー化を図る窓の技術を開発しました

背景

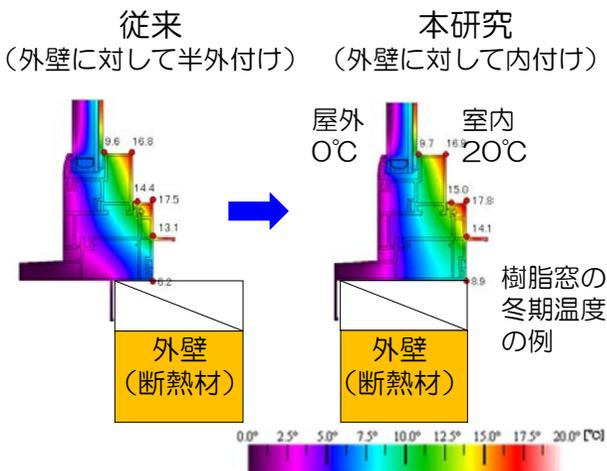
- 住宅の窓では、外壁や天井等と比べ、冬期の熱損失と夏期の日射熱侵入が多く発生。
- 窓の性能・機能の向上による、住宅の暖冷房エネルギーの大幅な削減が求められています。



成果

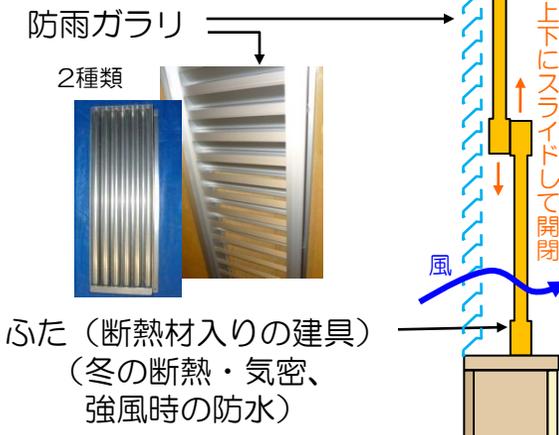
1 高断熱窓の開発

真空ガラスの採用と、サッシの設置位置を従来より内側にするにより、断熱性能を向上



2 通風口の開発

防犯性・断熱性に優れ、雨でも風速5m/sまで開放可能な通風専用部材の開発



3 窓システムの試作

- 高断熱窓
- 通風口
- 外付けルーバー (夏の日射遮蔽) からなるシステムを試作



暖冷房エネルギーの23%を削減 (右上図のとおり)

期待される効果

- 高性能窓、通風口、外付けルーバーを開発し、窓の省エネルギー化を推進。
- 高性能・多機能な窓システムの具体的仕様を提示。今後の製品化に貢献。(共同研究機関により製品化の予定)